

2032年(山梨県)からの4大会における実施競技について

正式競技 **42競技** ※ 天皇杯、皇后杯得点対象競技

1. 本大会

競技数: **37競技**

開催地: 山梨県、鳥取県、沖縄県、三重県

(2032, 2033, 2034, 2035)

計40競技
(第5期実施競技選定結果)

2. 冬季大会

競技数: **3競技**

開催地: 未定

「有識者会議」で示された提言を踏まえ、先行して導入

3. 国スポ改革先行導入大会 (通年・分散開催導入型)

競技数: **2競技**

※eスポーツ、アーバンスポーツ、マインドスポーツの実施も検討

開催地: 魅力ある大会にする観点から、国スポ改革の理念を踏まえ選定

開催経費: 原則としてJSPOやJGSCが負担(チケット販売の導入等)

国民スポーツ大会(第86回～第89回大会)における改革先行導入大会



1. 趣旨

今回対象となる第86回大会から第89回大会は、いわゆる2巡目最後の4大会であり、2036年以降に予定される新たな国スポの在り方への移行を見据えた重要な期間である。このため、有識者会議の提言及びタスクフォースにおける議論を踏まえ、新たな国スポの考え方や実施方法について、その実現可能性を見極め、将来の大会改革につなげる観点から、「改革先行導入大会」を開催する。

2. 基本方針

- 1) 有識者会議で示された大会の理念を踏まえ、祝祭性のある大会とする。
- 2) オリンピック等で活躍する競技や若い世代の興味・関心の高い競技を対象とする。
- 3) 競技数は2競技程度とする。
- 4) 正式競技として位置づけ、天皇杯、皇后杯得点の対象競技とする。
- 5) 大会開催県や派遣都道府県に新たな負担が生じないことを前提とする。
- 6) 開催地は、魅力ある大会の実現を図る観点から、改革先行導入にご協力いただけることを重視し選定する。

改革先行導入大会 実施競技の選定理由



①フェンシング

- 国際競技力が高く、オリンピックをはじめとする国際競技大会での実績を有する競技であるとともに、スピード感や駆け引きによる競技特性を備えているため。
- 照明や演出との親和性が高く、競技そのものが持つ緊張感や非日常性により、大会の魅力や発信力を高めることが期待できるため。
- 近年の国際競技大会における活躍を背景に競技への興味・関心が高まっており、大会の開催を通じて、一層の普及促進につながることが期待できるため。

②ダンススポーツ

- 若年層への訴求力が高く、音楽や身体表現を通じて観る人を巻き込みやすい特性を有しているため。
- 会場に一体感や高揚感を生み出すことができ、国スポに祝祭性をもたらす競技であるとともに、アーバンスポーツとしての発展性を有し、国際的にも注目が高まっているため。
- 特別な施設や設備を必要とせず、誰もが取り組みやすい特性を有することから、大会の開催を通じて、若年層をはじめとする幅広い世代への参加機会の拡大や普及促進につながることが期待できるため。